

2024年度

エキスパートHOMEナースを 目指す人材育成支援プログラム



研修目的

在宅療養者と家族の健康課題を多角的にとらえ、倫理観に基づいた看護実践力と、その実践を通してスタッフや学生を指導できる人材を育成します。

Health management and Hospitality（予防・健康増進）
Operation skill（基本技術やアセスメントの熟達）
Multi human communication（在宅療養者・家族・地域との連携）
Environmental care（生活・社会環境、職場環境への配慮）

応募締切延長！
9/25(水)×切

プログラムの特徴

メンタルトレーニング

- ・セルフメンタリング
- ・セルフマネジメント
- ・スタッフエンパワメント

大学院レベルの 授業展開

思考を深め、言語化することを重視した授業展開

学習者能動的・ 実践型の授業展開

ハイブリットシミュレーターによる演習

対象者

以下のいずれかを満たしている人を募集します

- ・訪問看護師の経験が3年以上ある
 - ・在宅ケア領域（外来、退院支援調整、福祉施設等）における看護実践の経験が3年以上ある
- ※経験3年未満での研修希望の方はお問い合わせください

研修期間

6か月間(2024年10月～2025年3月)

- ・原則、土曜開講(月2回)
- ・夜間開講もしくは集中講義もあり

定員 20名

受講料 120,000円

25日
応募×切 2024年9月12日 消印有効

大阪医科薬科大学の履修証明プログラムです

詳細、昨年度の「**研修受講者の声**」は、センターHP
(下記二次元コード)をご確認ください

お問い合わせ：学校法人大阪医科薬科大学 看護キャリアサポートセンター
〒569-8686 高槻市大学町2番7号
電話番号:072-683-1221(代表) Mail:k-career@ompu.ac.jp



学 習 内 容

区分	科目	主な学習内容
臨床判断を 発展させる科目	臨床推論	・臨床推論とは ・事例を用いた演習
	フィジカルアセスメント	・問診 ・フィジカルイグザミネーション ・臨床判断をもとにした看護実践
	在宅看護における生体診断	・レントゲン・心電図 ・看護とエコー診断 ・ポータブルエコー活用の実際
	看護倫理	・看護実践上の倫理的概念 ・看護実践における倫理原則 ・倫理的課題解決の方法と事例検討
マネジメントを 発展させる科目	医療の質保証と安全管理	・医療安全 ・医療と看護の質評価とその枠組み ・看護の質評価と改善
	看護教育・管理	・看護におけるリフレクション ・リーダーシップ論 ・組織分析と課題解決に向けた実践
	コンサルテーション	・コンサルテーションの概念 ・コンサルテーションのプロセス ・コンサルテーションの実際
	地域包括ケアと多職種連携	・地域包括ケアシステムと看護 ・チーム医療に関する理論とその活用 ・多職種連携とコンピテンシー
	社会保障制度	・地域包括ケアシステムと社会保障制度 ・医療保険制度と介護保険制度 ・障害児者等を対象とした制度
	メンタルトレーニング	・自己分析と自己理解 ・ストレスマネジメント
看護実践を 発展させる科目	感染管理とマネジメント	・感染看護総論 ・在宅における感染対策
	呼吸器疾患とケア	・呼吸器疾患とケア ・人工呼吸器の取扱いとケア ・高齢者の呼吸器疾患の特徴とケア
	医療的ケア児の看護	・重症心身障がい児の特徴 ・重症心身障がい児の発達支援 ・重症心身障がいと呼吸器ケア
	高齢・認知症ケア	・高齢者の摂食嚥下機能のアセスメント ・摂食嚥下障害のある療養者のケア ・認知症と看護 ・認知症看護における倫理 ・エンド・オブ・ライフケア
	在宅緩和ケア	・在宅緩和ケア総論 ・がん療養者の在宅緩和ケア ・高齢者と薬物動態 ・オピオイド使用のポイント
	在宅リハビリテーション	・肺理学療法 ・生活を重視した運動療法

